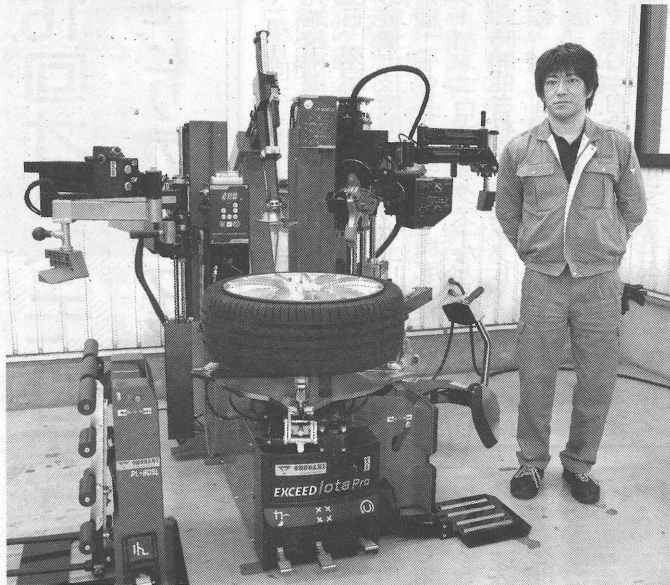


# 整備機器 新商品

## 小野谷機工(株)

### 乗用車用タイヤチェンジャー 「エクシード イオタ /イオタプロ」

「第37回オートサービスショー 2023」小野谷機工(福井県越前市)のブースでもっとも注目を集めた機器が「iota (イオタ) /iota Pro (イオタプロ)」だ。乗用車用タイヤチェンジャー「EXCEED」(エクシード)シリーズの新製品で、第9世代モデル。同社チェンジャーのフラッグシップ機種となる。そのデモンストレーションになぜ来場者が引き寄せられたのか。それは技術スキルと労力を要するレバーレス作業を、セミオート機能ならではの良さを発揮しながら難くこなしてみせたからだ。商品開発本部サービス機器開発部部長の吉川真仁さんが再現してくれた。



# レバーレス作業を セミオートで

「エクシード イオタ」は、「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

# 軽労化と作業性の向上を両立

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

「iota」は「iota」を採用した。従来の適用リム径10〜26インチ(10〜22/12〜24/14〜26)、適用リム幅3.5〜14インチ、最大タイヤ径1100ミリ×幅380ミリ。

